

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509615(P2005-509615A)

【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-535711(P2003-535711)

【国際特許分類】

C 0 7 D 309/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/351 (2006.01)

A 6 1 K 31/357 (2006.01)

A 6 1 K 31/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/7034 (2006.01)

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

A 6 1 K 31/7052 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 33/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 D 493/04 (2006.01)

C 0 7 D 493/14 (2006.01)

C 0 7 D 498/04 (2006.01)

C 0 7 H 15/203 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 309/10

A 6 1 K 31/351

A 6 1 K 31/357

A 6 1 K 31/395

A 6 1 K 31/7034

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 K 31/7052

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 33/02

A 6 1 P 35/00

C 0 7 D 493/04 1 0 6 B

C 0 7 D 493/04 1 1 1

C 0 7 D 493/14

C 0 7 D 498/04 1 1 6

C 0 7 H 15/203 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月14日(2005.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

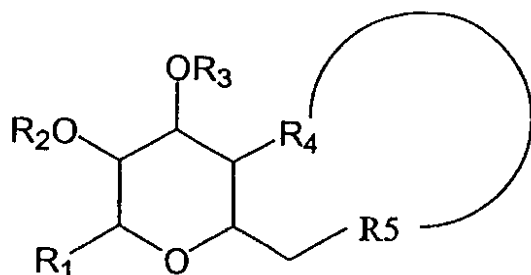
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式：

【化 1】



[式中、 R_1 は、 $-H$ 、 $-SPh$ 、 $-Ph$ 、 $-PhS$ 、 $-Al1$ 、又は $-Bn$ であり；

R_2 は、 $-H$ 、 $-Et$ 、 $-Al1$ 、 $-Me$ 、又は $-Bn$ であり；

R_3 は、 $-H$ 、 $-Et$ 、 $-Me$ 、 $-Al1$ 、又は $-Bn$ であり；そして

R_4 と R_5 は環を形成し、 $-カルバメート-C6-アルキル-エーテル-C4-アルケニル-エーテル-$ 、 $-エステル-C6-アルケニル-エステル-$ 、 $-エステル-C6-アルキル-エステル-$ 、 $-エーテル-C8-アルケニル-エーテル-$ 、 $-エステル-C6-アルケニル-アミド-$ 、 $-エーテル-C7-アルケニル-アミド-$ 、 $-エステル-C10-アルケニル-エステル-$ 、又は $-エステル-C18-アルケニル-エステル-$ 、又は $-OCH(Ph)CH_2O-$ である] の化合物又はその薬学的に活性な誘導体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の少なくとも一つの化合物を含む、哺乳動物対象における病原性細菌、真菌、ウイルス、又は原虫感染を治療するための医薬組成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の少なくとも一つの化合物を含む、哺乳動物対象における腫瘍を治療するための医薬組成物。

【請求項 4】

抗菌、抗真菌、抗ウイルス、又は抗原虫の有効な量で請求項 1 に記載の化合物を含有する、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

抗腫瘍形成の有効な量で請求項 1 に記載の化合物を含有する、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

哺乳動物対象がヒト患者又は別の哺乳動物である、請求項 2 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

感染因子が 1 以上の他の療法に対して耐性を有する、哺乳動物対象における病原性細菌、真菌、ウイルス、又は原虫感染を治療するための医薬組成物であって、抗菌、抗真菌、抗ウイルス、又は抗原虫の有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含む、前記医薬組成物。

【請求項 8】

R_4 と R_5 が環を形成せず、それぞれ $-OH$ である、請求項 1 に定義する化合物。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の少なくとも一つの化合物を含む、哺乳動物対象における病原性細菌、真菌、ウイルス、又は原虫感染を治療するための医薬組成物。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の少なくとも一つの化合物を含む、哺乳動物対象における腫瘍を治療するための医薬組成物。

【請求項 1 1】

抗菌、抗真菌、抗ウイルス、又は抗原虫の有効な量で請求項 8 に記載の化合物を含有する、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 2】

抗腫瘍形成の有効な量で請求項 8 に記載の化合物を含有する、請求項 1 0 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 3】

哺乳動物対象がヒト患者又は別の哺乳動物である、請求項 9 ないし 1 2 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 1 4】

感染因子が 1 以上の他の療法に対して耐性を有する、哺乳動物対象における病原性細菌、真菌、ウイルス、又は原虫感染を治療するための医薬組成物であって、抗菌、抗真菌、抗ウイルス、又は抗原虫の有効な量の請求項 8 に記載の化合物を含む、前記医薬組成物。